

令和元(2019)年度 九州情報大学所属研究者による研究業績 (五十音順)

麻生 隆史 学長

○寄稿

- ・「福岡県中小企業家同友会へメッセージ」
(『月刊同友』4月号、福岡県中小企業家同友会、2019年4月1日)
- ・「『ランドデザイン答申』後の短期大学制度」
(『短期大学教育』第75号、日本私立短期大学協会、2019年10月17日)

○講演・発表等

- ・「第2評価期間の振り返りと基準別評価の考え方」
(短期大学基準協会令和元年度認証評価評価員研修会、2019年7月9日)
- ・「自己点検・評価報告書の作成及び第2評価期間の評価からみた留意点等について」
(短期大学基準協会令和2年度認証評価ALO対象説明会、2019年8月26日)
- ・「内部質保証に係る学習成果の測定について」
(九州情報大学FD研修会、2019年9月26日)
- ・「中教審議題『地域における高等教育機関と大学間の連携の在り方について』」
(岡山学院大学・岡山短期大学FD・SDワークショップ、2019年12月26日)
- ・「短期大学を取り巻く現状と課題について」
(長崎短期大学FD/SD講演会、2020年2月5日)

荒平 高章 専任講師

○著書

- ・The design of two different structural scaffolds using β -tricalcium phosphate (β -TCP) and collagen for bone tissue engineering. *Materials for Biomedical Engineering*. Elsevier, 2019. 371-401. (共著：筆頭著者)
- ・『関節・軟骨の再生医療』第5章3節、シーエムシー出版、2019年12月。
(共著：第3著者)

○論文

- ・Effects of culture conditions on the mechanical and biological properties of engineered cartilage constructed with collagen hybrid scaffold and human mesenchymal stem cells. *Journal of Materials Science: Materials in Medicine*, 30 (10), 2019, 119. (共著：第2著者)
- ・Development of novel collagen scaffolds with different bioceramic particles for bone tissue engineering. *Composites Communications*, Vol 16, pp. 30-32, 2019. (共著：筆頭著者)

- ・ Biomechanical Study of Implant Treatment For Maxillas With Different Bone Quality. Dental Research and Oral Health 2019, Doi: 10.26502/droh.007. (共著：筆頭著者)

○学会報告

- ・ 「MECHANICAL FINDER を用いた人工骨の損傷解析」
(MF ユーザー研究会、2019年7月、共著：筆頭演者)
- ・ Development and characterization of collagen composite scaffold for cartilage tissue engineering, International Conference on Advanced Technology in Experimental Mechanics 2019, 2019.10. (共著：共同演者)
- ・ 「 μ - CT 画像を利用した海綿骨モデルの作製と力学特性の評価」
(M&M2019 材料力学カンファレンス、2019年11月、共著：共同演者)
- ・ 「人工骨組織構築のための磁場刺激装置の基礎的評価」
(第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月、共著：筆頭演者)
- ・ 「汎用型アイウェアによる転倒リスク指標開発のための基礎的評価」
(第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月、共著：筆頭演者)
- ・ 「進化計算を用いた説明可能な個別事例向けの知識発見方法」
(第8回日本医療情報学会「医用人工知能研究会」人工知能学会、「医用人工知能研究会」(SIG-AIMED) 合同研究会、2019年11月、共著：共同演者)
- ・ 「リン酸処理によるリン酸カルシウム系足場材の作製と評価」
(第32回バイオエンジニアリング講演会、2019年12月、単著：筆頭演者)

○学会活動

- ・ 日本機械学会 第30回バイオフィロンティア講演会、細胞バイオメカニクス 座長、2019年7月

遠藤 真紀 教授

○論文

- ・ 「中小企業における ISO 2015 年版の活用」(『福岡大学商学論叢』第63巻第3・4号)

○学会報告

- ・ 「中小企業における ISO 2015 年版の活用と課題」
(日本マネジメント学会第79回全国研究大会、於：立教大学 2019年6月9日)

小川 雄平 教授

○論文

- ・「金正恩：『非核化』の取組みは本物か？」
（『東アジア研究』25号、東アジア学会、2019年3月）
- ・「国境と東北アジアの地域経済協力」
（『商学論叢』64巻2号、福岡大学、2019年9月）

○学会報告

- ・「ボーダーと東北アジア地域経済協力」
（東アジア学会第29回大会共通論題「東アジアのボーダーを考える」、於九州国際大学、2019年5月18日）
- ・「中朝関係からの示唆」
（北東アジア学会・立命館アジア日本研究所・同코리아研究センター共催「2019西日本地域研究会シンポジウム」、於立命館アジア太平洋大学、2019年5月26日）

竹石 洋介 准教授

○学会報告

- ・ Analysis of Relationship Between Blood Examination and Body Composition in Over 35 of BMI
（41st ESPEN Congress on Clinical Nutrition & Metabolism, Krakow, Poland, 31 August - 3 September, 2019, Nutrition - A Highway to Health）
- ・ Effect of High Intensity Practice on the Body Composition to High-Carbohydrate Diet in Japanese Sumo Wrestling
（41st ESPEN Congress on Clinical Nutrition & Metabolism, Krakow, Poland, 31 August - 3 September, 2019, Nutrition - A Highway to Health）